キャラクター名
真手場・ベルカ

プレイヤー名

シンドローム	モルフェウス ブラックドッグ	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	高校生
オプショナル		年齢	１７	性別	男
覚醒	素体	衝動	殺戮	初期侵食率	34 %
出自	双子	経験	仲間の死	邂逅	忘却（コールドウェル）

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	1	0			4
感覚	3	0	0			3
精神	1	0	0			1
社会	1	0	0			1

HP	29
行動値	7
(非装備時)	7
戦闘移動	12
全力移動	24

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	3		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	1		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
ウルカナリア捌式細剣（通常）	白兵	4r+3	3	32		
ウルカナリア陸式大剣（80%↑）	白兵	8r+3	3	32		範囲攻撃、装甲ガード無視３回まで
ウルカナリア零式大鎌（100%↑）	白兵	10r+3	3	38		範囲攻撃、装甲ガード無視３回まで

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ
強化服	1	1			

合計装甲：	1	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
対抗種	P	N		
アルフレッド・J・コールドウェル	P 尊敬	N 不信感		
カルナ・マテバ	P 庇護	N 隔意		
ナイチンゲール	P 親近感	N 侮蔑		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 2	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
コンセ：モルフェウス	2	2	メジャー	-	-	-	-	
効果：組み合わせたエフェクトのC値ーLV								
インフィニティウェポン	5	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：［LV+7］攻撃力 ガード３の武器作成								
咎人の剣	4	5	メジャー	-	対決	白兵	リミット	
効果：組み合わせた攻撃力を＋［LV□５］								
サポートデバイス	4	6	セットアップ	至近	自身	自動	80%	
効果：白兵のダイスを＋［LV×２］								
ギガンティックモード	1	3	メジャー	武器	範囲［選択］	白兵	-	
効果：対象を範囲［選択］に変更、武器失う								
バリアクラッカー	3	4	メジャー	武器	対決	白兵	-	
効果：装甲ガード無視、シナリオにLV回								
電波障害	1	-	メジャー	視界	シーン	自動	-	
効果：レーダー携帯電話などを無効化								
壁抜け	1	-	メジャー	至近	自身	自動	-	
効果：密室や閉鎖空間を抜けられる。								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

FH・クロドヴァセルにて、内線が続く欧州クロドヴァで実験体、及び少年兵として戦っていたFHチルドレン、丁度1年前、UGNに保護される。
保護後は一般常識の訓練などが続いていたが、上手く順応することができず、1年たってようやく高校に通えるレベルにまで回復した。

クロドヴァでの内戦で両親を失っており、その際、姉であるカルナ・マテバとも生き別れている。
本人は姉のカルナは生きていると信じて疑わないが、UGN調べによると死亡している可能性が高い。

また、FHにて洗脳手術が行われた際に誓印に血判を押しており、それを肌見放さずに持ち歩いている。本人はこれをエフェクトの発動帯のように考えているらしく、FHの洗脳の深さが伺える。

高校の潜入任務はUGNの人手が足らず、止む無く…といったところ、非常識な行動が目立つため、あまり友人もいない様子。
ただ、転校初日に絡んできた不良の上級生をワーディングも使わずにタコ殴りにした（誓印を取り上げられたのが理由）ことによって、一匹狼としてグレているグループからは一目置かれている…らしい。
----------世界の真実----------

FHクロドヴァセル内の研究施設「マテバ」によって純粋培養にて育てられた試験管ベイビーであり、強化人間、両親なぞはじめから存在していない。
カルナ４号S型ｍ（マテバ）は、彼の元になった超人兵士であり、現在所在不明。

彼もまた、ベルカ８号B型ｍ（マテバ）として、実験的に戦場に投入されている際、UGNに保護という名目で助けられる。
UGNの目的はFH実験施設でのカルナ型、ベルカ型の人型兵器の奪取、もしくは殺害にあった。（そういう意味でもこの作戦は成功している）

この作戦内容はUGN内部でも極秘扱いとされ、知っている人間は一握りしか存在しない。